MORNING DISPATCH

2026-10-29

1. Google、Gemini 4 Carbonを発表
2. GitHub Enterprise、Copilotを標準で含む形に
3. GitHub Agentic Workflows、一般提供に

注目3件

TEKION Group

Google、Gemini 4 Carbonを発表

Googleが、次のフロンティアモデル「Gemini 4 Carbon」を発表しました。

- 脆弱性を見つけるSEC-bench Proで88.2%、悪用できるかを確かめるExploitGymで54.8%…
- 社内では、大きなコードベースにまたがる微妙なバグの原因を探して直す作業を、何日も粘って続けたという
- Web開発の比較サイトWebDev Arenaでは前のモデルから89点上がって1768（4位）

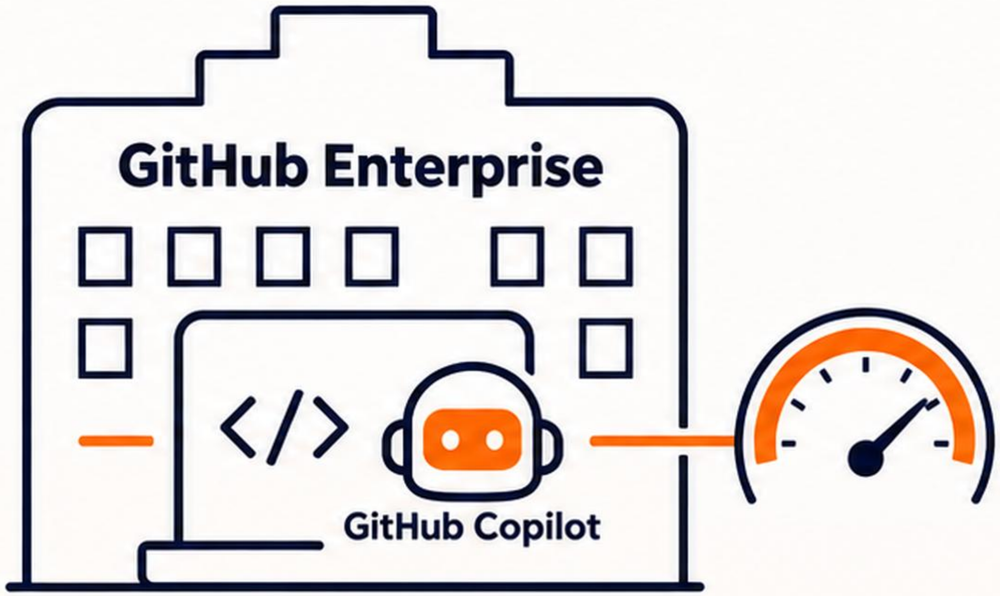


最上位のモデルを、まず守る側に限定して出す形になっています。

blog.google

GitHub Enterprise、Copilotを標準で含む形に

GitHub Enterpriseのライセンスを持つ全員に、GitHub Copilotを含められるようになりました。



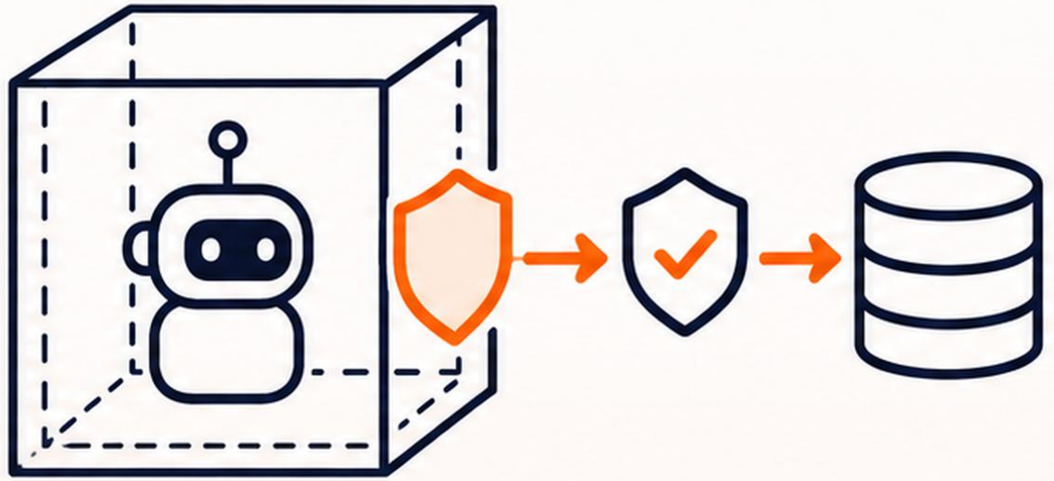
- AIの利用は最初のリクエストから企業の予算に対して従量で計測する。席ごとの無料の利用枠は無い
- 予算が尽きても、コード補完とnext edit suggestionsは使える。Copilot Chat、Copilotのコードレビュー…
- GitHub Enterpriseのライセンスを持たない利用者は、Copilot Standaloneで同じ機能を1人あたり月10ドルで使える

AIの導入で考えることが「何人分買うか」から「どれだけ使ってよいか」に変わります。

GitHub Agentic Workflows、一般提供に

GitHub Nextのオープンソースプロジェクト「GitHub Agentic Workflows」が一般提供になりました。

- エージェントは既定で読み取り専用の権限で、サンドボックスのコンテナとAgent Workflow Firewallの内側で動く
- 出力は「safe outputs」の仕組みで検証し、専用の脅威検知ジョブが変更案を適用前に調べる
- `gh aw forecast` が正式機能になり、脅威検知の分も含めたAIクレジットの月ごとの見込みを出せる



エージェントを手元で呼び出すだけでなく、リポジトリの決まった仕組みとして毎日動かせるようになります。

github.blog

TEKION Group

Claude Enterprise、チームのAI活用を報告書に

AnthropicがClaude Enterpriseに、チームの使い方をまとめる「smart reports」、アプリ内のアンケート、チーム単位で予算を共有する「pooled group budgets」の3つを一般提供しました。

- チーム、期間、対象の製品を選んでレポートを作る。つまずきの例は「コネクタが無い」「ツールの呼び出しに失敗した」など
- 改善案には、繰り返している作業をスキルにする、コードのリポジトリにルールを足す、といった提案が入る…
- 利用額の上限が妨げになっていれば、請求の権限を持つ管理者がレポートから上限を上げられる…

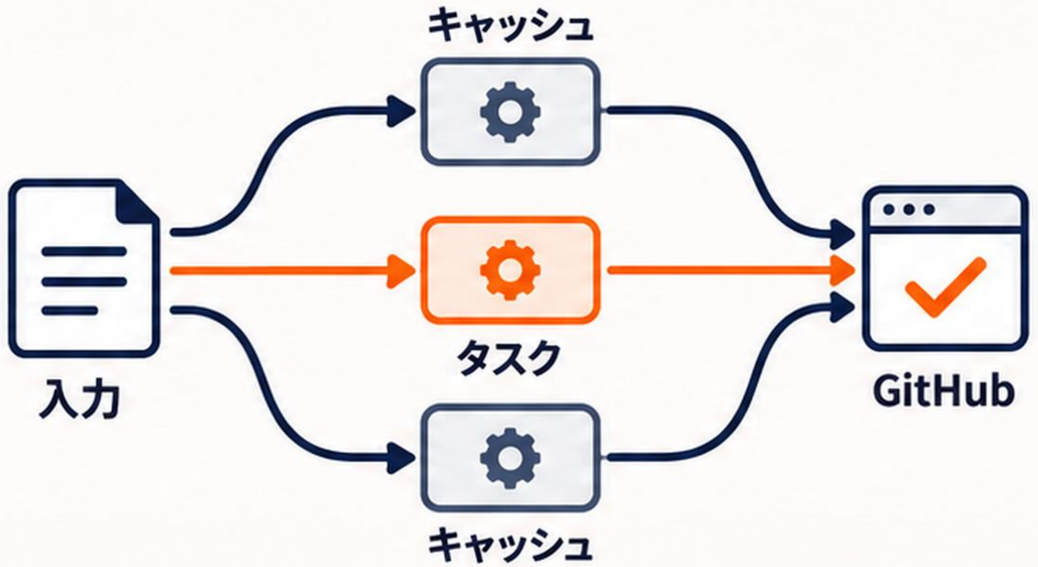


会社でAIを使うとき、いくら使って何が得られたかを説明するのは意外と難しいものです。

Vercel CI、変更に関係する検査だけ実行

Vercelが、CIのサービス「Vercel CI」をベータで公開しました。

- turbo.jsonのタスクに "tags": ["ci"] を付ければ始められ、ワークフローのYAMLを別に書く必要はない…
- 入力が変わっていないタスクはキャッシュから結果を返し、残りのタスクは1つずつ別のマシンで、依存先が終わりしだい始まる
- 結果はGitHubのプルリクエストにチェックとして付くので、今のブランチ保護のルールで失敗時のマージを止められる

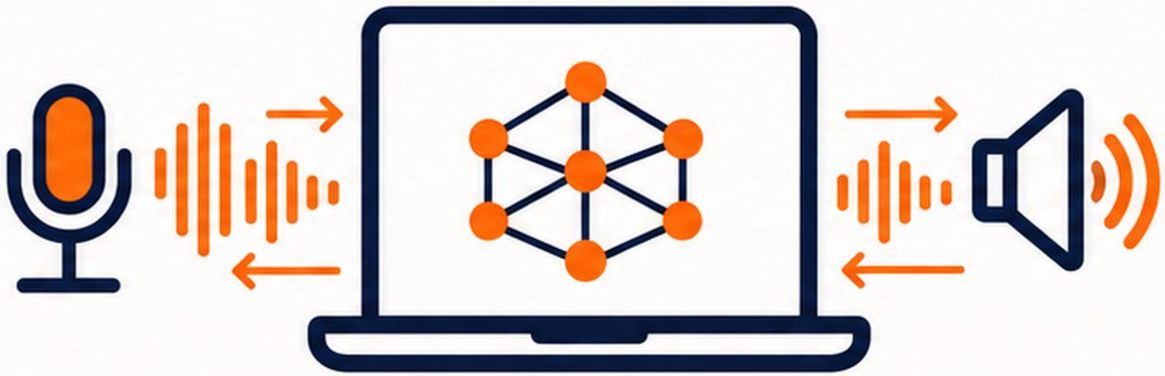


コーディングエージェントがプルリクエストを次々に出すようになると、1本ごとのCI待ちが積み重なって全体が遅くなります。

llama.cpp v0.8.0、手元で音声の入出力

ローカルでLLMを動かすエンジン「llama.cpp」がv0.8.0を公開しました。

- LFM3-Audio-2BとLFM3-Omni-2Bは、音声認識・音声合成・音声での対話を1つのモデルでこなし、音声を流しながら入出力できる
- DeepSeek V4.1 Flash、SenseNova U1、Beam、Kolibri-1、Flint、Muse Sparkなど、新しいモデル構造にも対応した
- チャットテンプレートが持つ推論の深さ（reasoning effort）を、APIから選べるようになった



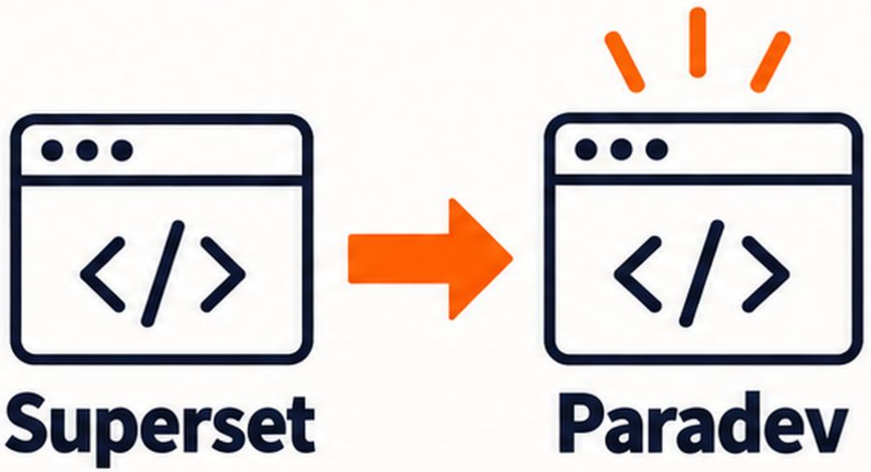
OpenAIと同じ形のAPIなので、クラウド向けに作った音声アプリを、手元のモデルに差し替えて試しやすくなります。

github.com

Superset、Paradevに改名して資金調達

コーディングエージェントをたくさん同時に動かすためのエディタ「Superset」が、名前を「Paradev」に変えました。

- 旧名Supersetの公式アカウント（@ParadevAI）が2026年10月26日に改名と調達を発表した
- 調達はシードラウンドで1150万ドル。USVが主導し、Y Combinatorが参加
- 公式サイトの説明は「Claude Code、Codex、ほかのどのコーディングエージェントでも1つのワークスペースで」…



1150万ドル

エージェントを1つずつ使う段階から、何本も同時に走らせて人がまとめて確認する段階に移る人が増えています。

本日のトピック一覧

1. Google、Gemini 4 Carbonを発表
2. GitHub Enterprise、Copilotを標準で含む形に
3. GitHub Agentic Workflows、一般提供に
4. Claude Enterprise、チームのAI活用を報告書に
5. Vercel CI、変更に関係する検査だけ実行
6. llama.cpp v0.8.0、手元で音声の入出力
7. Superset、Paradevに改名して資金調達